

『消化管癌患者由来腫瘍を用いた移植片マウスモデル及びスフェロイド培養モデルの樹立に関する研究』

2015年から2024年3月までに当施設で消化管癌（大腸癌、胃癌、食道癌）にて切除術を受けた患者さんについて、手術摘出後組織をもちいて移植片マウスモデルおよび培養モデルの樹立のための研究を行ないます。データの集計にあたっては匿名化の後に行い、患者さんの個人情報を公開することはありません。また個人を特定できる情報を施設外に提供することはありません。研究対象は術前に病理組織の研究利用に同意され、かつ遺伝子解析に同意された方です。研究対象とならないことを希望する際には当教室に連絡すれば、情報の削除が可能です。本研究は京都大学医の倫理審査委員会にて審査を受け、病院長の許可を受けて行っています。この研究の主研究機関は京都大学消化管外科です。（研究担当：河田健二）

研究責任者：河田健二

問い合わせおよび相談窓口：京都大学消化管外科医局（075-366-7595）または
京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口（075-751-4748；
E-mail:ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp）

研究機関：京都大学医学部附属病院 消化管外科
研究責任者：河田 健二

相談窓口：京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口
TEL：075-751-4748
E-mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp